

介護ネットみやぎ速報

(第13号 2009.8.11)

発行者 NPO法人 介護ネットみやぎ

責任者 入間田 範子



022-276-5202

022-276-5205

介護ネットみやぎ『2009年度「情報の公表」調査員研修』を開催しました

8月10日(月)10時30分から宮城県庁2階講堂において、調査員41人の出席で調査員研修を行いました。

入間田範子事務局長から、本年度の調査を開始にあたり、介護ネットみやぎの基本倫理や調査員心得、調査実務マニュアルなどの再確認と2008年度の事業所アンケートのまとめの報告を行いました。

引き続き、佐々木真由美事務局員から、今年度新たに加わるサービスの説明や調査実務の改定点などの説明を行い、今年度の調査実務の周知徹底を行ないました。

平成21年度「介護サービス情報の公表」調査員全体研修会が開催されました

8月10日(月)13時30分から、介護ネットみやぎ調査員研修の後引き続き、宮城県指定調査機関4機関の調査員が一堂に集まり「平成21年度介護サービス情報の公表調査員全体研修会」が開かれました。

宮城県保健福祉部長寿政策課渡辺課長の開会挨拶の後、平成21年度の訪問調査に関する、新サービスの調査員みなし規定、調査年度のとらえ方、調査不要項目、調査のポイント等、公表センターなどから説明されました。研修会の締めくくりとして、今年度新たに調査対象となるサービスの内、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の運営や仕組みについて、みやぎ宅老連伊藤代表から熱く語られ、これからの調査のヒントをいただきました。

2008年度情報の公表調査事業所アンケート集計結果を宮城県に提出しました

8月10日(月)、全体研修会終了後、宮城県指定情報公表機関と指定調査機関は、宮城県に対し、「2008年度介護サービス情報の公表調査事業所アンケート結果」を提出し、アンケート結果と事業者からの要望等について、長寿政策企画課長と懇談をしました。宮城県からは、渡辺達美さん(長寿政策課・介護保険室課長兼室長)と渡辺俊哉さん(介護保険室室長補佐)が対応されました。(要望内容は別添資料をご覧ください)

2009年度(平成21年度)の

「情報の公表」訪問調査が始まります!

2009年8月10日

宮城県知事

村井 嘉浩様

【宮城県指定情報公表センター】

(NPO) 宮城福祉オンブズネット「エール」

【宮城県指定調査機関】

(NPO) 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会

(NPO) 介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ

(NPO) みやぎ宅老連絡会

(社 福) 宮城県社会福祉協議会

「2008年度介護サービス情報の公表事業所アンケートのまとめ」の提出と
この取り扱いについての要望

宮城県指定公表センター・宮城県指定調査機関は、「利用者の介護サービス事業所の選択（比較検討）を支援すること」という情報の公表の目的達成するために、そして中立・公正であるために日々努力してまいりました。情報の公表の調査の平準化をはかるための月1回の公表センターと調査機関の打ち合わせ会、調査員の資質向上のための様々な調査員研修などを実施してきました。情報の公表対象の全ての事業所は、調査手数料・公表手数料を納め、調査のために、多くの時間を費やしています。

私たちは、このようにして行なわれている情報の公表が、有効に活用されることを願っています。情報の公表が有効に活用されるために何が必要なのかを明らかにするために、このアンケートを実施しました。

2009年7月9日の、合同「情報の公表」調査事業推進委員会を経て、宮城県指定公表センター・宮城県指定調査機関が、「2008年度介護サービス情報の公表事業所アンケートのまとめ」を作成し、ここに提出します。

アンケートには、情報の公表制度を一般の方々に活用していただく方法について、多くの意見提案が寄せられました。「その他、ご意見・ご要望」にも、「情報の提供方法の活用方法の改善を求める。」「ホームページの改善を求める。」など、利用者の事業所選択のための情報となることに大きな期待が寄せられています。今後の改善に生かすことを要望します。

「2008年度介護サービス情報の公表事業所アンケートのまとめ」は、宮城県指定情報公表センターのホームページに掲載します。宮城県のホームページにリンクすることを希望します。